

2014 電気自動車エコラン競技大会を開催報告

8月23日、24日に宮城県村田町スポーツランドSUGOの国際レーシングコースで「2014 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」を、公益社団法人日本設計工学会東北支部、公益社団法人計測自動制御学会東北支部、そして国立高等専門学校機構仙台高等専門学校の共催で開催しました。



工藤治夫実行委員会委員長の開会挨拶

電気自動車エコラン競技大会は、自動車産業で復興を目指す震災被災地東北において、自動車産業にかかわる人材の発掘と育成、とくに、次世代環境型自動車技術を体験できる意義のある大会です。

このレースは、競技規定で指定された鉛バッテリー(公称270Wh)をエネルギー源として、1周約3.7km、70mの高低差、10%の長い上り坂を有するコースを2時間で何周回走行するかを競います。

本年も、自動車メーカー技術者チームをはじめ、大学・高校生チーム、合計43チームが集い、41チームが出走し、40チームが正式出走となりました。本年は好天に恵まれ、記録更新が期待されました。



グリッドイン



スタート

本年は、高校生チームの健闘著しく、総合順位の上位3位まで、すべて高校生チームでした。

オープンクラス優勝は

PROJECT MONO ◇TTDC チームの「MONO-F」：周回数18，総合4位
準優勝は、東京工業大学 Meister チームの「Daidalos」：周回数17，総合5位
第3位は、Team ENDLESS の「リボン Go!」：周回数17，総合6位



MONO-F



Daidalos



リボン Go!



オープンクラス表彰

大学部門優勝は

東京工業大学 Meister チームの「Daidalos」：周回数17，総合5位
第2位は、ポリテクカレッジ新潟の「Wild Spirit-II」：周回数9，総合21位
第3位は、福島県立テクノアカデミー浜の「寺島オーバージェット」：周回数9，総合22位



Wild Spirit-II



寺島オーバージェット



大学部門表彰

ジュニアクラス優勝は

- 仙台工業高等学校 定時制の「不撓不屈 03」：周回数 23，総合 1 位
- 準優勝は、矢板高等学校 機械技術研究部の「ブルーインパルス 14-B」：周回数 20，総合 2 位
- 第 3 位は、矢板高等学校 機械技術研究部の「ブルーインパルス 14-A」：周回数 19，総合 3 位
- 第 4 位は、若松第一高等学校自動車部 WFHS チームの「若一」：周回数 16，総合 7 位
- 第 5 位は、栃木県立真岡工業高等学校の「コットン 3 号」：周回数 14，総合 9 位
- 第 6 位は、宮城県伊具高等学校 IGU-B の「IGU-II 号」：周回数 13，総合 10 位



不撓不屈 03



ブルーインパルス 14-B



ブルーインパルス 14-A



若一



コットン 3 号



IGU-II 号



ジュニアクラス表彰

2012年から推奨している四輪部門は、12チームがエントリーして、

優勝は、宮城県伊具高等学校 IGU-Bの「IGU-II号」：周回数13，総合10位

準優勝は、宮城県第二工業高等学校の「縛り地蔵 2014」：周回数10，総合19位

第3位は、仙台高等専門学校 広瀬Bの「SEV-K14」：周回数9，総合25位



縛り地蔵 2014



SEV-K14



四輪車部門表彰

計測自動制御学会東北支部特別賞 SICE 賞は、無冠の最上位への贈賞ということで、総合7位、ジュニア4位の若松第一高等学校 WFHS チームの「若一」へ贈賞されました。



SICE 賞表彰

また、実用電気自動車開発に取り組んでいる工藤電機株式会社より、EVhonda(株)の「改造電気自動車教室」招待券が、特別賞として、仙台工業高等学校定時制チーム、東京工業大学 Meister チーム、宮城県伊具高等学校チームの3チームへ贈られました。



改造電気自動車教室招待券の贈賞



EVhonda 代表本田氏の講演

本大会にご共催、ご協賛いただいた団体は、(株)菅生、日本ケミコン(株)、(株)日本精工、ソリッドワークス・ジャパン(株)、宮城トヨタ自動車(株)、(株)ホンダ・カーズ宮城中央、公益社団法人 東北工学教育協会、公益社団法人 自動車技術会東北支部、キャパシタフォーラム、公益社団法人 計測自動制御学会東北支部、公益社団法人 日本設計工学会東北支部、一般社団法人 電気学会東北支部、東北工業大学、石巻専修大学、東北文化学園大学、モバイルジャパン(株)、東北大学未来科学技術共同研究センター、創造技研(株)、梶原電気(株)、工藤電機(株)、(株)インテリジェント・コスモス研究機構(次世代自動車部)、加えて、特別協賛は古河電池(株)でした。多くの皆様からの多大なるご支援とご理解によって開催できましたことに、深く感謝申し上げます。

(文責、2014 電気自動車エコラン競技大会実行委員 大泉哲哉)